

J R 北海道の重大事故・トラブルの徹底した原因究明
と安全対策の徹底を求める決議

去る9月19日に、J R 北海道（北海道旅客鉄道株式会社）函館線で発生した貨物列車の脱線を受けて、国土交通省運輸安全委員会が実施した原因調査をきっかけに、同社の路線において、安全運行が保てるとされるレール幅の広がり許容値を超えているにも関わらず放置されている箇所が、約270箇所を確認された。

同社では、安全基準を超えた場合、15日以内に補修すると内規で定めているにも関わらず、1年近く放置されていた箇所もあり、2011年の特急列車の脱線炎上事故や、その後の一連の重大事故・トラブルは、おもに人的な要因であることが明らかになり、公共交通機関としての信頼が大きく失墜したばかりか、鉄道事業者としての適格性に疑念が生じている。

よって、本市議会は、同社に対し、公共交通機関としての信頼を回復するため、安全対策を改めて根本から見直し、安全運行の持続にむけた仕組みづくりに早急に着手するよう強く求めるものである。

以上につき、決議する。

平成25年（2013年）10月3日

札幌市議会

（提出先）北海道旅客鉄道株式会社

（提出者）全議員